



狂犬病の流行状況

中国疾病预防控制中心 www.chinacdc.cn 2010-09-26

2009年、全国24の省(自治区・直轄市)では2,213人の発症、2,131人の死亡が報告されており、報告された発症数と死亡数は、2008年と比して、夫々10.26%、10.20%下降している。2008年に我が国の狂犬病発症者数が下降を開始した後、2009年度もまた継続下降の趨勢にある(図1を見よ)。

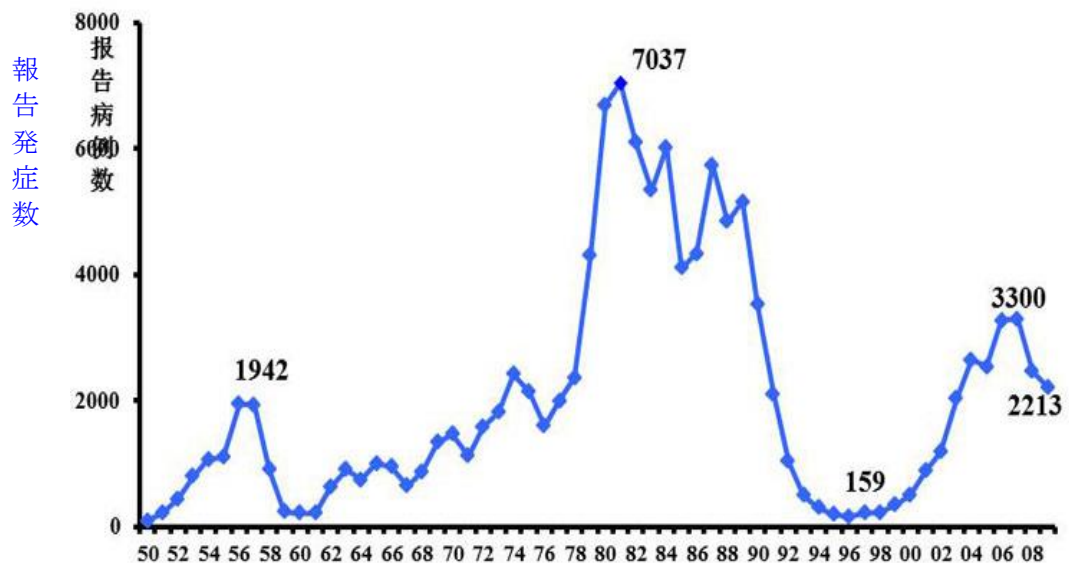


図1 1950～2009年全国狂犬病発症報告数

現在我が国では主に南方地区に分布が見られ、発症報告の最も多い省から広東省(330例)、広西省(324例)、貴州省(263例)、湖南省(200例)及び河北省(135例)の五省で全国発症者数の56.57%を占めている。

(図2を見よ)

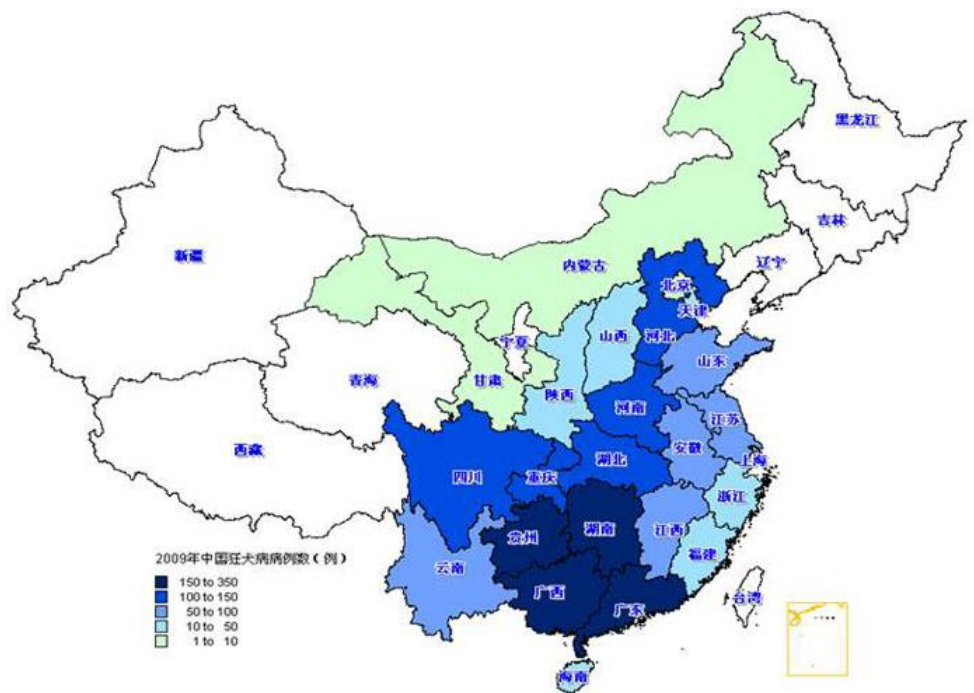


図2 2009年全国狂犬病流行の分布

4月から、全国の狂犬病発症数報告が次第に増加し始め、10月にピークを迎えその後下降をしている。各月の発症報告数には明らかな差異はない。 図3を見よ。

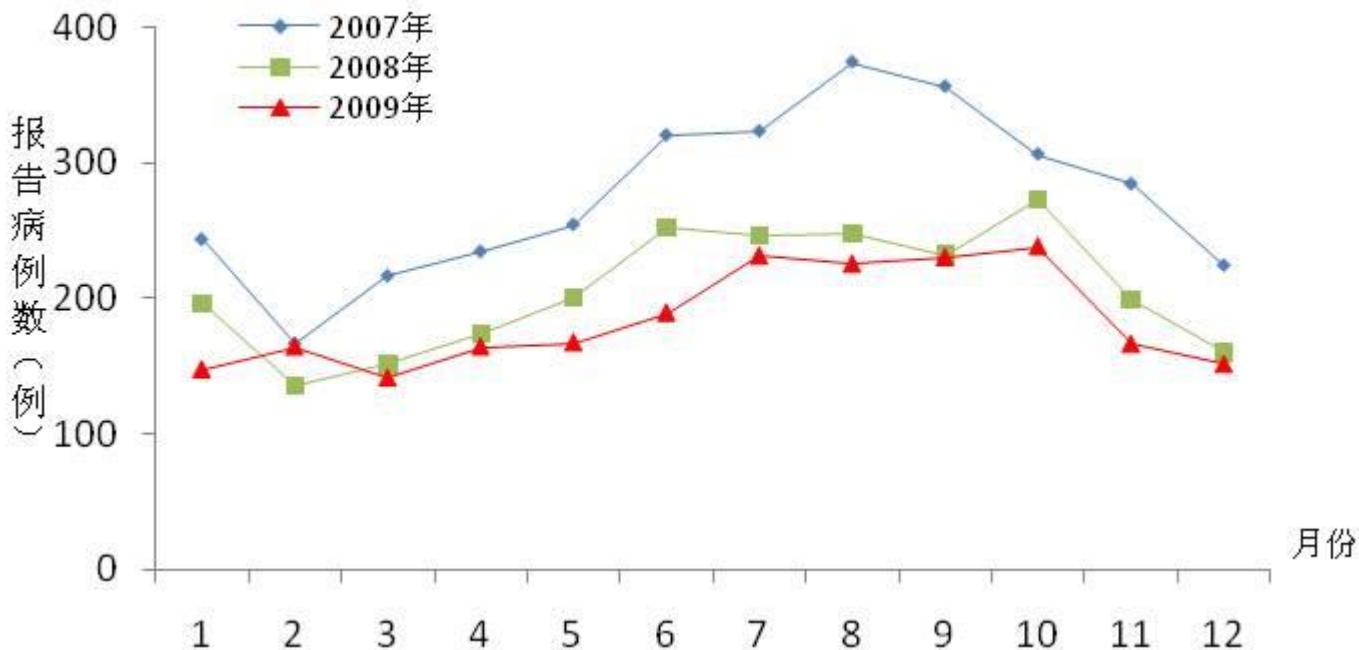


図3 2007～2009年全国狂犬病月次発症数

患者は相変わらず農民や学生、分散して居住している児童が主であり、夫々発症者総数の69.3%、10.57%、7.37%を占めている (図4を見よ)。

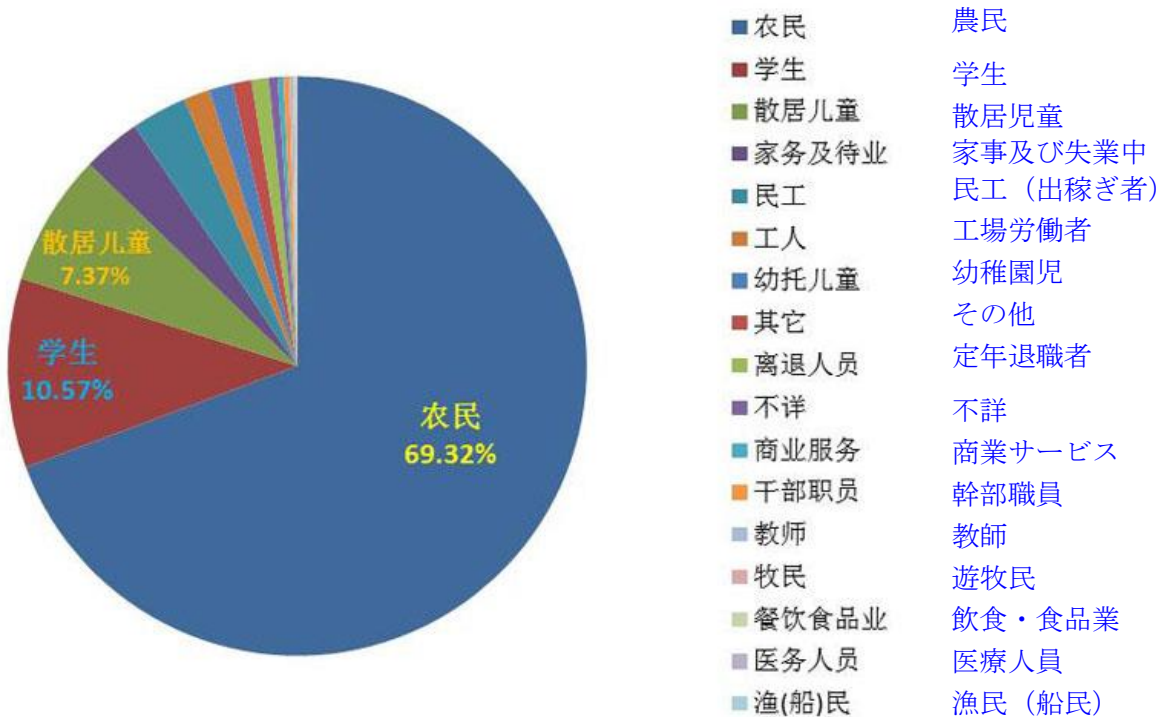


図4 2009年全国狂犬病発症職業構成

男女の性別比は男2.34に対し女性1となる。年齢分布の観点からみると5歳～10歳グループの発症率と発症数にピークが見られ、15歳～30歳では比較的少ない。35歳以後では年齢に従い増加、発症率はやや上昇、60歳～75歳でピークに達している。図5を見よ。

報告された発症数 (例)

報告された発症率

報告发病数 (例)

報告发病率 (1/10万)

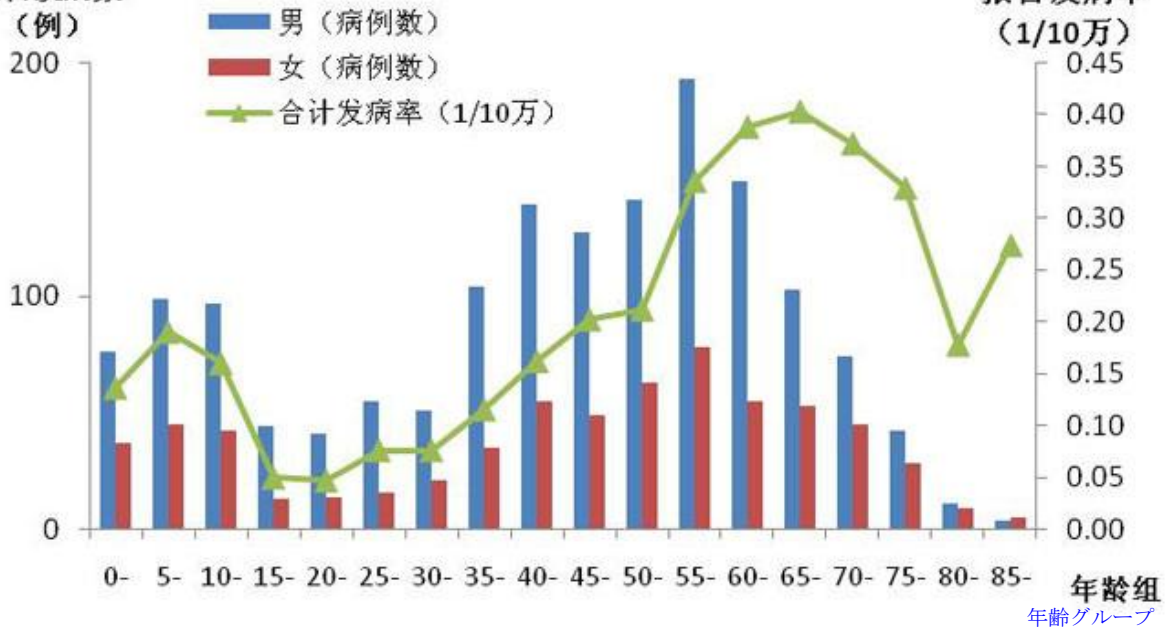


图 5 2009 年全国狂犬病发症年龄分布

..... 以下は中国語原文

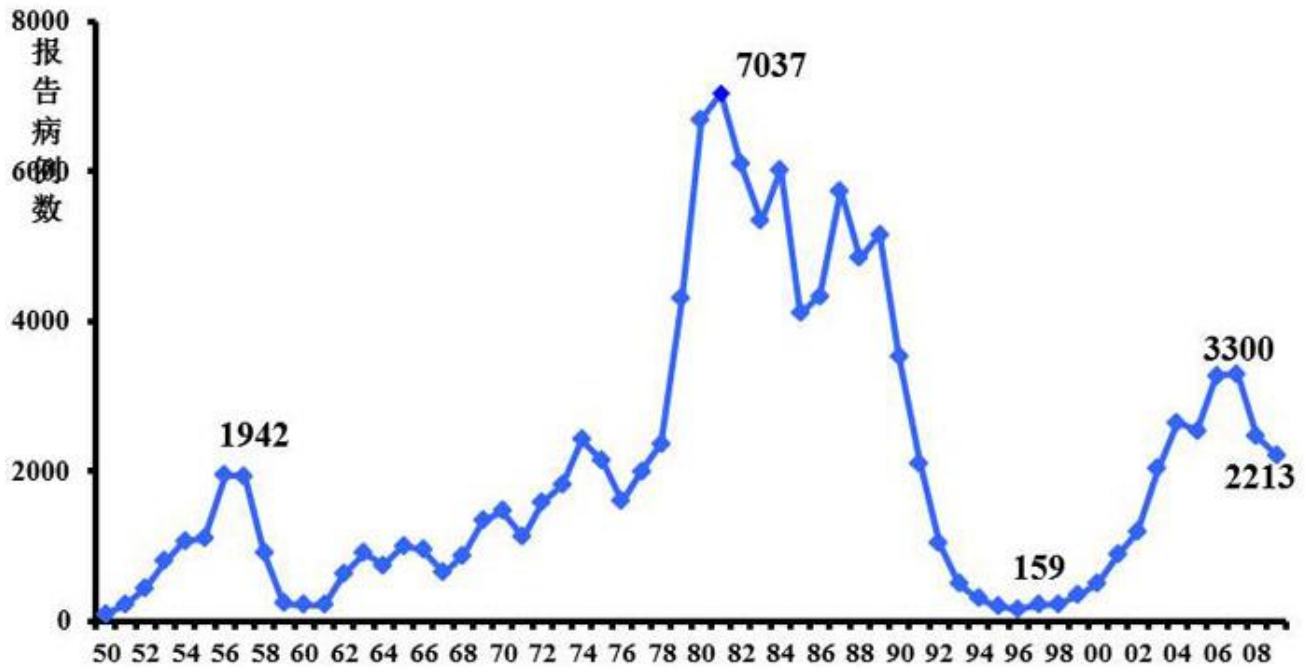
狂犬病流行现状

中国疾病预防控制中心

www.chinacdc.cn

2010-09-26

2009年，全国24个省（自治区、直辖市）共报告发病2213例，报告死亡2131人，报告发病数和死亡数较2008年分别下降10.26%和10.20%。2008年我国狂犬病报告病例数开始下降，2009年继续呈下降趋势，见图



1。

图 1 1950~2009 年全国狂犬病报告病例数

目前我国疫情主要分布在南方地区，报告发病数最多的省份为广东（330例）、广西（324例）、贵州（263例）、

湖南（200例）和河北（135例），五省病例占全国病例总数的56.57%，见图2。

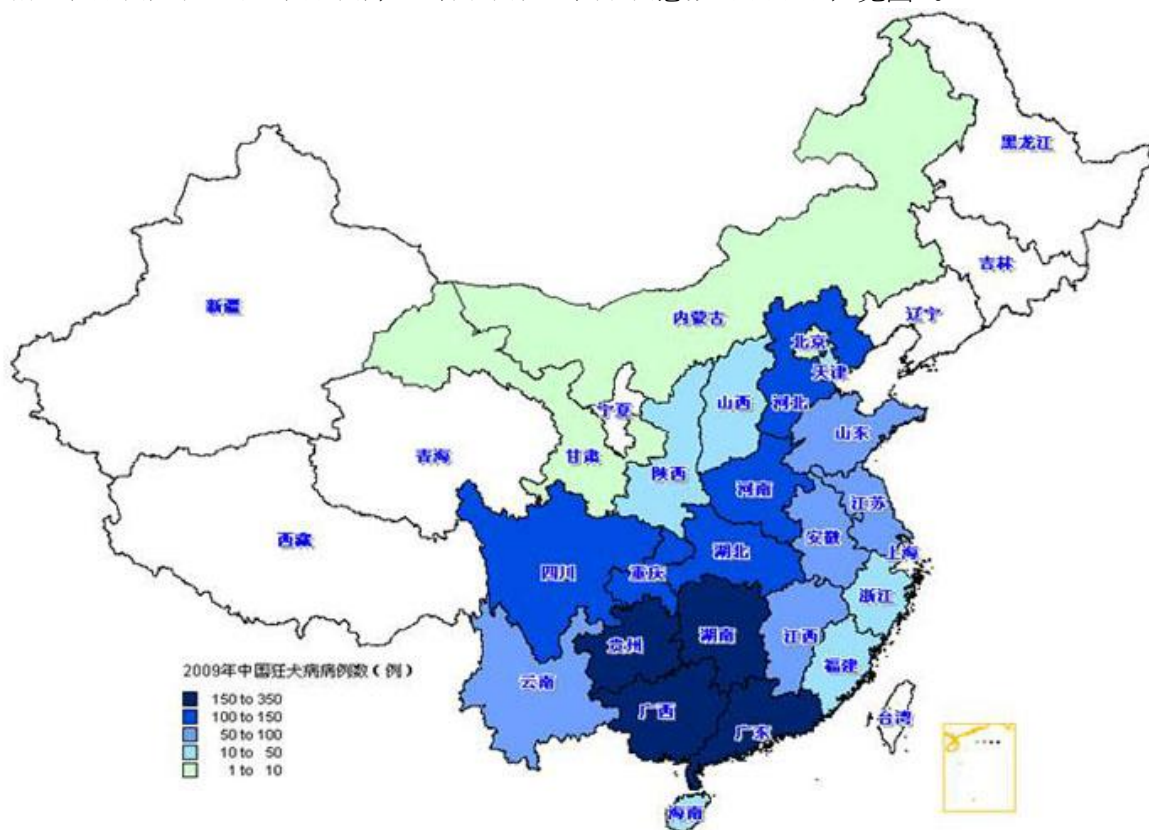


图2 2009年全国狂犬病疫情分布

自4月份开始，全国狂犬病报告发病数开始逐渐增加，10月份达到最高峰，后开始下降，各月间报告发病数差别不明显，见图3。

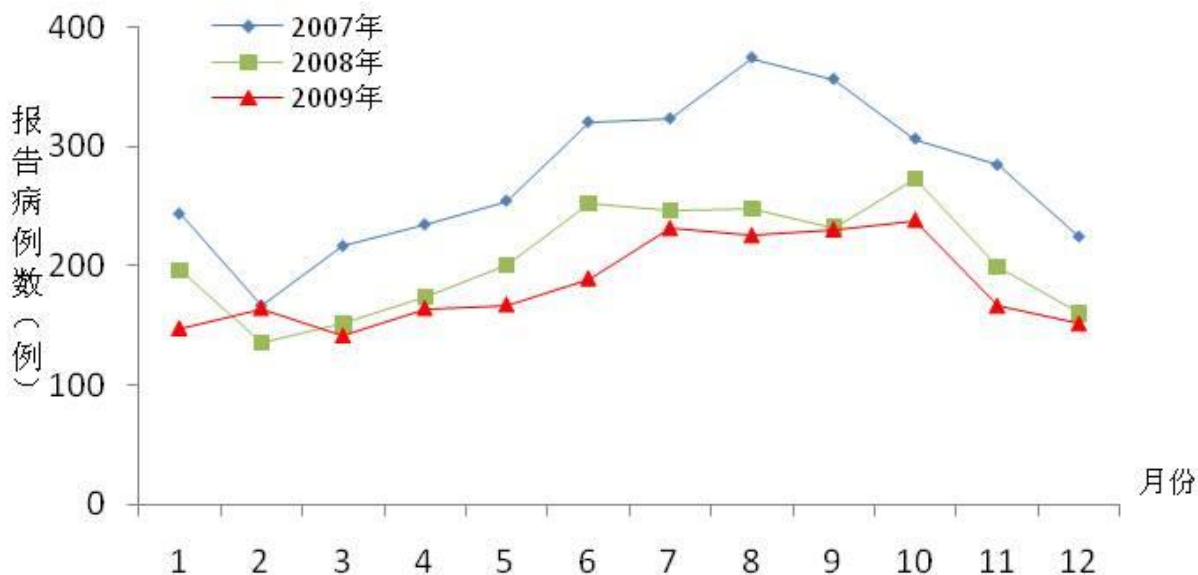


图3 2007~2009年全国狂犬病月发病数

病例仍以农民、学生和散居儿童为主，分别占病例总数的69.32%、10.57%和7.37%（见图4）。病例男女性别比为2.34:1。从年龄分布看，5-10岁组发病率和发病数出现高峰，15-30岁发病较少，35岁后随着年龄增加，发病率逐渐上升，至60-75岁达到高峰，见图5。

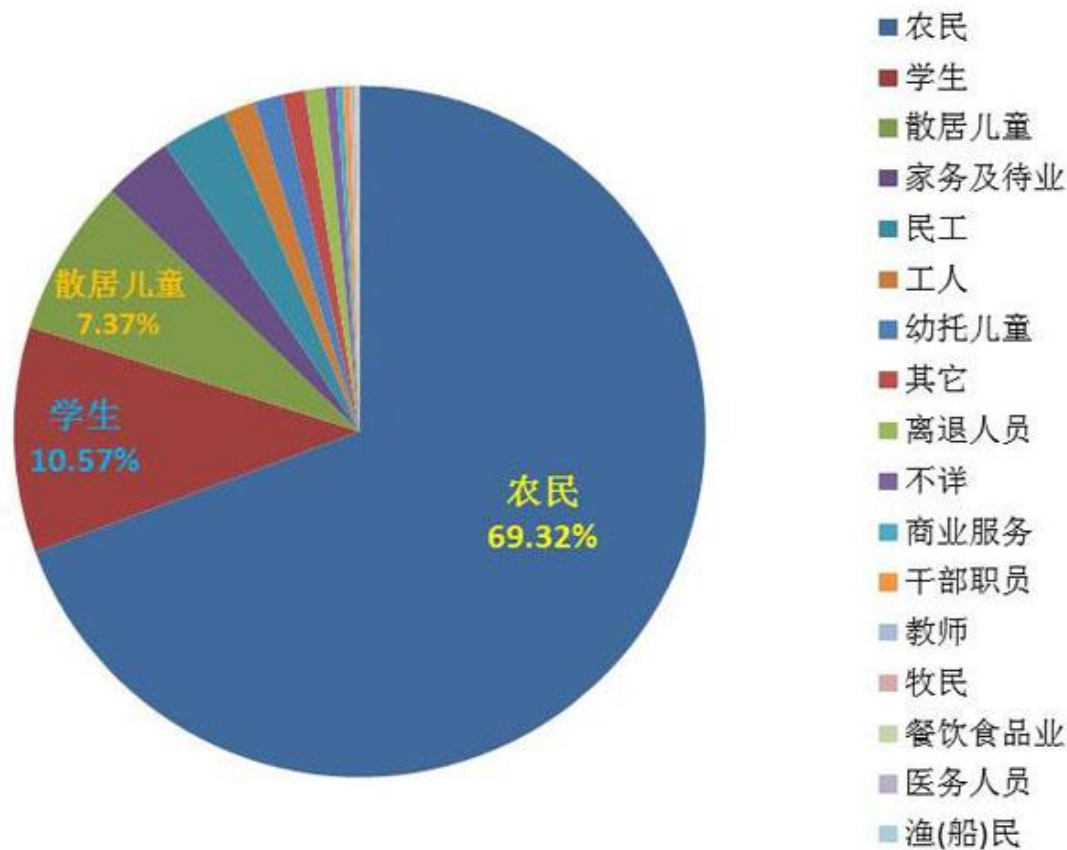


图 4 2009 年全国狂犬病病例职业构成

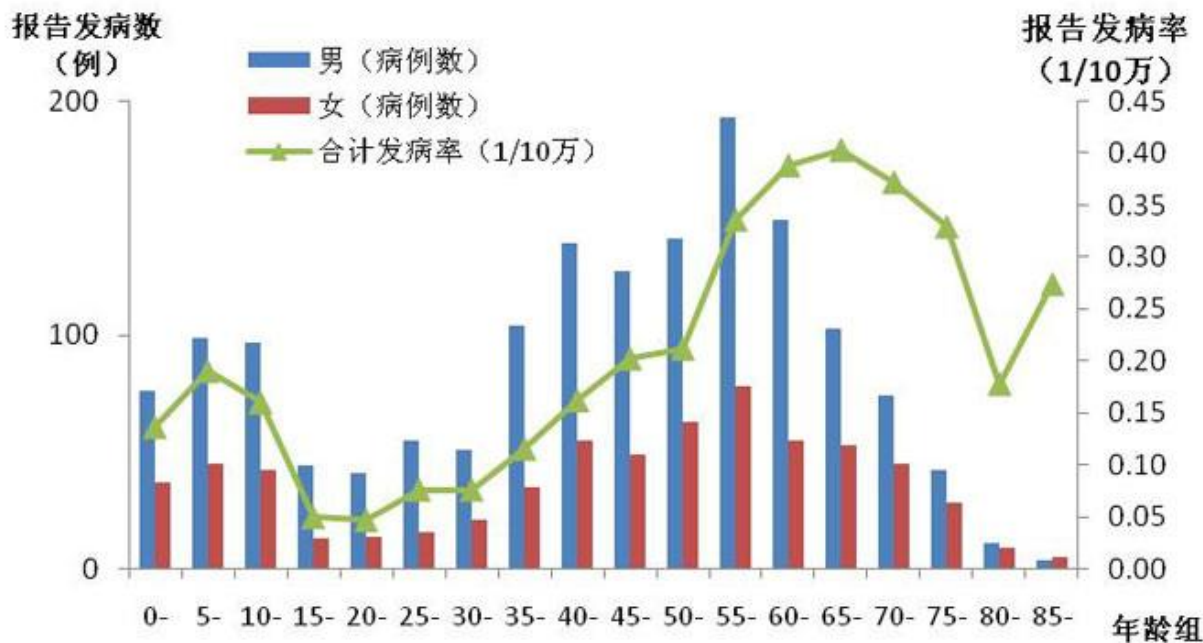


图 5 2009 年全国狂犬病病例年龄分布